

「選択と集中」の視点に立った投資の重点化や、地域の可能性・資源を最大限に生かした知恵と工夫による地域振興の推進が求められていることから、次に掲げる対象事業に該当し、かつ、複合的目的を有し事業効果・波及効果が高い事業、将来的な展望が明確で地域に根付く事業を優先的に採択する。

1 地域重点プロジェクトの推進

平成20年度に策定した「十勝連携地域政策展開方針」における地域重点プロジェクトの着実な推進を図るため、以下の項目に該当する事業について平成23年度に引き続き優先的に支援していく。

(1) とかち「農」ブランドパワーUPプロジェクト

十勝の農業は、安全・安心で良質な食の安定供給などを通して、地域住民の暮らしを支えるとともに、食品加工や観光などの幅広い産業と結び付き、地域の基幹産業として極めて重要な役割を担っている。しかし、「食」の信頼を大きく揺るがす出来事が相次いで発生していることから、消費者と生産者との信頼関係を基本とした「食」の構築が求められている。

また、今後、WTO（世界貿易機関）やEPA（経済連携協定）また、TPP（環太平洋パートナーシップ）協定参加をめぐる国際的な農業交渉の進展などにより、市場競争の激化や農産物価格の低迷が予想されており、農産物や加工食品の付加価値を高めていくことが極めて重要となっている。

こうしたことから、農業王国としての地位を確立している十勝の優位性を生かし、高品質な農産物の生産を基本としながら、生産から加工、販売までの一貫した取組を促進することにより、農産物の付加価値を向上させるとともに、個性豊かで自立した十勝農業・農村の発展や強いブランド力をもった食産業の構築に資する取組を支援していく。

(2) 「食の王国とかち」観光プロジェクト

十勝圏は、美しく豊かな大自然に恵まれ、最も北海道らしい景観を有する地域であるが、近年の観光スタイルの多くが「日帰り型」・「通過型」・「夏期集中型」となっていることから、広域分散型といわれる観光資源のネットワーク化を進めることで、四季を通じて十勝でくつろいでいただける観光の仕組みづくりが求められている。

このため、平成23年10月に北海道横断自動車道が道央圏と十勝との間で接続したことや、旅行形態が団体旅行から個人・グループ旅行にシフトしていることなどを踏まえ、農林水産業と観光産業との連携を図り、十勝の安全・安心な「食」を核として、地域に点在する自然景観・北海道遺産・ファームインなどを利用したグリーンツーリズム・温泉・アウトドアフィールドといった観光資源を組み合わせた広域型観光地づくりを進めるとともに、ホスピタリティの向上を進めながら、十勝の魅力を積極的に売り込むことに資する取組を支援していく。

(3) 美しくエコな とかちづくりプロジェクト

十勝圏の変化に富んだ豊かな自然環境は、私たちの生活に安らぎと潤いを与え、十勝の発展の基礎ともなっている。

しかし、社会経済活動や生活様式の変化により、身近な自然環境の悪化や生態系への影響、地球温暖化など、地域レベルから地球規模にわたる様々な環境問題が顕在化しており、豊かな自然環境を将来にわたり受け繋いでいくことが極めて重大な課題となっていることから、私たち一人一人がこれまでのライフスタイルや社会経済活動を見直していくことが求められている。

こうしたことから、十勝の地域特性を生かし、バイオマス資源の利活用を促進するとともに、産学官連携の下、バイオマスに関連した新たな産業の創出を促進する取組、温暖化など地球規模での環境問題の解決に向け、身近なエコ活動を促進することで、住民の主体的な環境保全活動を地域に定着させる取組及び二酸化炭素吸収源となる森林づくりを進めることに資する取組を支援していく。

優先選択事業

ハード系事業

次の十勝連携地域重点プロジェクトの推進に資する施設の整備事業

- 1 とかち「農」ブランドパワーUPプロジェクト
- 2 「食の王国とかち」観光プロジェクト
- 3 美しくエコな とかちづくりプロジェクト

ソフト系事業

次の十勝連携地域重点プロジェクトの推進に資する施設の整備事業

とかち「農」ブランドパワーUPプロジェクト

- <十勝産農産物のブランド化の促進>
- ア 安全・安心な食の提供に向けた取組の促進
- イ 十勝ブランドの確立に向けた取組の促進
- <付加価値の高い加工食品づくり>
- ウ 付加価値を生み出す仕組みの構築の促進
- エ 食関連企業の立地促進
- オ 商品のプレミアム感の構築
- <効果的な情報発信と販路拡大>
- カ 地域の農産物の情報発信
- キ 十勝の農産物の消費拡大に向けた取組

「食の王国とかち」観光プロジェクト

- <食材王国十勝の「食」を生かした観光メニューづくり>
- ア 「食の王国」の確立に向けた戦略構築と気運醸成
- イ 十勝らしい「食」メニューの開発、磨きあげ
- ウ 十勝らしい地産地消の飲食店や直売所の拡大と観光資源化
- <十勝の風土や美しい景観・人とのふれあい観光の充実>
- エ 十勝の魅力あふれる観光メニューの連携
- オ ホスピタリティの向上に向けた取組
- <観光客誘致キャンペーン>
- カ 十勝に訪れ周遊させるための情報発信
- キ 十勝の魅力あふれる食観光のプロモーション

美しくエコな とかちづくりプロジェクト

- <豊富なバイオマス資源の利活用の促進>
- ア 基幹産業である農業の強化とCO₂排出削減に向けた利活用の促進
- イ 「バイオマスリファイナリー産業」の創出に向けた取組の促進
- <十勝流エコライフの定着・促進>
- ウ もっとエコなとかちづくりの促進
- エ 地域主体の河川流域における環境保全の取組
- オ 未来を担う子どもたちへの環境教育
- <森林づくりを通じた地球温暖化防止への貢献>
- カ 森林づくりに向けた取組
- キ 森林づくりに向けた環境学習などの推進

2 広域連携の促進

人々のニーズが多様化し、高度化している現在、個々の市町村で地域のすべてのニーズを満たすことは難しく、高度な機能の整備や質の高いサービスの提供、効果的な施設の整備、産業の振興など地域活性化への取組についても、これまで以上に地域間の連携、機能分担が求められることから、市町村等の枠組みを超えた広域的な取組を支援していく。

優先選択事業

ハード系事業

- ア 複数の市町村が共同で実施する事業(施設の共同設置等)
- イ 広域的な波及効果が見込まれる地域の基幹となる施設の整備事業

ソフト系事業

- ア 複数の市町村が共同で実施する事業
- イ 広域的な波及効果のある事業

3 多様な主体の連携の促進

総合振興局長が適当と認める者が実施する事業にあっては、市町村が関与（財政支援又は人的支援等）をしている事業を優先的に支援する。

4 道から市町村への権限移譲の促進

「地域主権型社会」の実現を目指し、市町村において道からの権限移譲を受ける取組に資する事業を優先的に支援する。